

飛 翔

広島市立安佐中学校 生活だより

平成24年 7月19日 No 23

明日(20日)は「全校集会」

「前期前半」の終了です

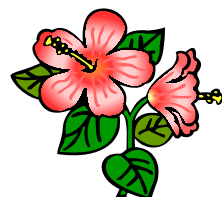
明日(20日)で「前期前半」が終了します。4月から今日までの「自分」と「クラス」をふり返ってみましょう。どのような「3ヶ月半」でしたか？

《明日(20日)の日程》 * 4時間目(昼食)まで通常授業

13:30~13:45 掃除
13:55~14:45 5校時
14:45~14:55 体育館へ移動

14:55~15:15 6時間目 **全校集会**

15:15~15:25 教室へ移動
15:25~15:45 学活(暮会を含む)



「群読ボクシング全校大会」終わる

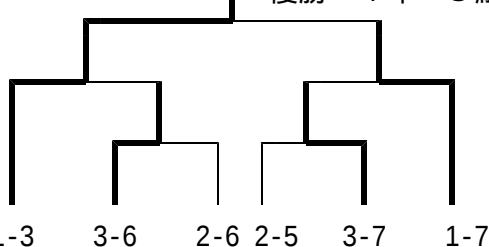
7月18日(水)

昨日(18日)の3、4時間目は、「詩の群読ボクシング」全校大会が行われました。体育館に全校生徒が集まり、全学級「国語」の授業として、実施されました。この授業の目標は、『言葉を通じて、相手の心を聴く』(発表者は『相手に心を伝える』です)暑い中ではありましたが、各学年の代表が、ステージ上にて、気温に負けないような「熱い」戦いを繰り広げました。

「全校大会」では、「学年大会」と異なるルールで、各班が創作した「詩」の発表の前に、「即興詩」が与えられ、5分間の練習でその詩も発表しました。

《全校大会トーナメント結果》

優勝 1年 3組



決勝は、史上初の1年生対決となりました

課題詩(即興詩) えらい人

かしこいひとは
まわりのみんなにかんしんされます
すぐれたひとは
まわりのみんなにせんぼうされます
りっぱなひとは
まわりのみんなにしんらいされます
えらいひとは
まわりのみんなにそんけいされます
もっともえらいひとは
まわりのみんなをたいせつにします

優勝クラス〔1年3組〕の詩 「ペットの気持ち」

しゃべらない でもわかる こいつが何を言いたいのが「そのごはんを頂きたい」
聞こえる 聞こえる 聞こえてしまう こいつは何も言っていないけど
今まで何度もごはんをとられた 明日もまたとりにくるだろう まるでおきあがり
こぼしのように しつこい しつこい しつこいけれど このごはんは ゆずらない

「犯罪防止教室」を終えて

7月17日(火)



先日(17日)の6時間目は、「犯罪防止教室」が行われました。
安佐南警察署の少年育成官である三戸田和恵さんに来ていただき、みなさんに話をさせていただきました。

お話は、事前に3年生からとった「質問」に答える形から始まりました。

〔Q：未成年者で、どの年齢がもっとも犯罪を犯しやすいか？〕

〔A：広島県内(平成23年)で、法を破って、検挙・補導された未成年の年齢で、もっとも多いのは「14歳」(697人)です。ちなみに、13歳が686人、15歳が535人と未成年の犯罪(3451人)のうち、中学生が占める割合がたいへん高いのです。非行の中心は「中学生」と言えるでしょう。〕

〔Q：未成年の犯罪でもっとも多いのは何ですか？〕

〔A：広島県内(平成23年)で、もっとも多いのは「窃盗」です。

その数は「2033人」(うち「自転車窃盗」295人、「万引き」1281人)

「万引き」は、すべての犯罪へつながる「入り口」。

「万引き」も「窃盗」であり、「泥棒」であり、「犯罪」なのです。

〔Q：不審者を見分ける方法を教えてください。〕

〔A：人を見ただけで見分けるのは難しい。「人」ではなく「場所」に注目しよう。「入りやすく、見えにくい場所」(草木が茂っている公園など)が不審者が出没しやすい場所です。近づかないようにしましょう。〕

〔Q：夏休みに「中学生」に気をつけてほしいことは何ですか？〕

〔A：自由な時間が増えます。「自分の責任」をよく考えて行動してください。様々なことに「チャレンジ」することは必要、その「結果」は自分に返ってくることを知しましょう。〕

*次号に続く

みんなの「感想文」より

～あなたは、どのように感じましたか？

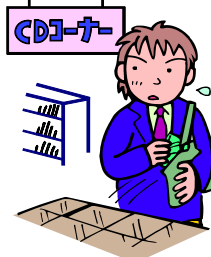
・今回の犯罪防止教室を通じて学んだことは2つあります。

一つ目は、犯罪は「しなくて当たり前のものでなくてはならない」ということです。授業で「自転車を盗まれないように、しっかりと鍵をかける」などの犯罪を防止する方法を学び、確かに大切だとは思いましたが、それは犯罪をする人が「いる」から起こる出来事です。そもそも犯罪というものは、当たり前のように生活し、ルールを守る責任を一人一人が持てば、起こらないことではないかと考えます。

平和で、みんなが信じ合える良い世の中にしていきたいです。

二つ目は、犯罪を注意する勇気を持つことが大切だということです。

さきほど、「しないことが当たり前と考えたい」という想いを述べましたが、それでも犯罪は起きます。それは、犯罪を起こす人を身近な人が注意していくことが大切だと思いました。自分が誘われたとき、犯罪しているのを見たとき、一人一人が注意すると、少しでも変わっていくと思います。



「無言は賛成」というように、注意できなければ、自分も犯罪に協力しているのと同じだと思います。「犯罪をしてはいけない」という雰囲気作りを、みんなが協力してやっていくことが大切だと思いました。

〔3年生 男子〕